

「やすらぐいなか宣言」(鳥取県鳥取市)

事例の概要(事業名:鳥取市輝く中山間地域創出モデル事業)

「集落が100年先まで生き残っていくためには」を目標に、集落の持つ長所を生かしなが
ら、「安全安心して暮らせる」「自然景観を守る」「人が集まる交流をする」「美味し
いものを作る食べる」「エコな生活に挑戦する」を基本計画とした取り組みを実施し、元
気で活力のある地域、安全安心して暮らせる地域創りを推進するもの。

主な事例の内容

【事業主体】鳥取市用瀬町岡集落(岡集落活性化委員会)

【事業内容】特に安全安心して暮らせる事業をメインに各事業に取り組んだ。

①安全、安心して暮らせる事業

- ・一人暮らし世帯を聞き取り調査し、課題解決に向け関係行政機関と協議
- ・緊急時などに速やかに連絡を取るための緊急時連絡表を作成し各戸に設置
- ・災害時の避難・誘導、高齢者・一人暮らし世帯の安全確保の指針となる防災マニュアルを作成し各戸に配布。避難時携行カードを作成し集落全員に配布

②自然・景観を守る事業

- ・集落のシンボルである天王山の整備(高木伐採。裾野周辺にコスモス・スイセンを植栽。歴史、由来について参道に標識版を設置。)

③人が集まる交流事業

- ・栽培・収穫したそばを使用したそば打ち・交流会を実施。
- ・活動内容を紹介するため看板を制作・設置するとともにPR用パンフレットを作成。

④美味しいものを作り、食べる事業

- ・休耕田を活用してそばを栽培、収穫。そば粉販売。
- ・新しい特産品を開発するため、湿地帯に生食するアオマガリ(山菜の一種)を試行栽培。
- ・米の消費拡大を図るため、米から直接パンを作り試食。

⑤エコな生活に挑戦する事業

- ・自転車車輪(ハブ発電)を利用した水力発電機を試作。

【取組経過】平成22年度 事業計画の策定

平成23年度 事業実施

【総事業費】平成22年度 0.1百万円(うち過疎債 0.1百万円)

平成23年度 1.1百万円(うち過疎債 0.9百万円)



くやすらぐいなか宣言の看板と集落の皆さん

ポイント

- ・高齢者・一人暮らし世帯が必要とする支援と支援体制の構築。
- ・緊急時連絡網、避難・誘導・要援護者支援の体制、自主防災組織の構築。



集落に見守る体制や意識が出来、安全安心して暮らせる集落へ一歩前進

- ・事業活動を通じて、集落内の一体感や地域をよくしようという郷土愛が醸成。
- ・中堅・若手リーダを登用し、育成、研修・実践の場となった。



世代を超えた集落全員参加での取り組みが、これからの継続的な集落の取り組みへつながる